

### 高知の味を届ける喜び

15年前に花きびを受け継ぐ決断をしたのは、母の畦地佳さん。「うちはお菓子や珍味の仕入れ販売が主なんです、メーカーにもなりたいたいと話合っていたんです。久保田商会さんが閉業すると聞いたとき、すぐ夫に相談し、その日のうちに相手先の承諾を得ました」。工場を増築し、結果として花きびは、1年も途絶えずにつなぐことができたのです。

久保田商会とは、高知の昭和世代にはおなじみ、映画館で売っていた「マックのシユガーコーン」のメーカー。花きびが古くからひな菓子だったことは文献にも残るそうですが、この商品としての花きびは昭和40年代からのもの。受け継ぐ決断をした畦地さんは、「私は大分県出身でもあり、当初、花きびのことはよく知りませんでした。いまでは、やって良かったと思う思います。高知の味ですし、毎年、いつ出ますかと待っていただけの商品は喜びです」としみじみ。娘の和田さんも実感を込めて、「作っているときも、気持ちがあつと明るくなりますね」



「これからも花きびを大事に育てていきます」。左から、社長の和田しほ子さん(長女)、母で専務の畦地佳さん、製造担当の亀井世伯子さん(次女)

## 幸せな気持ちを、ありがとう。

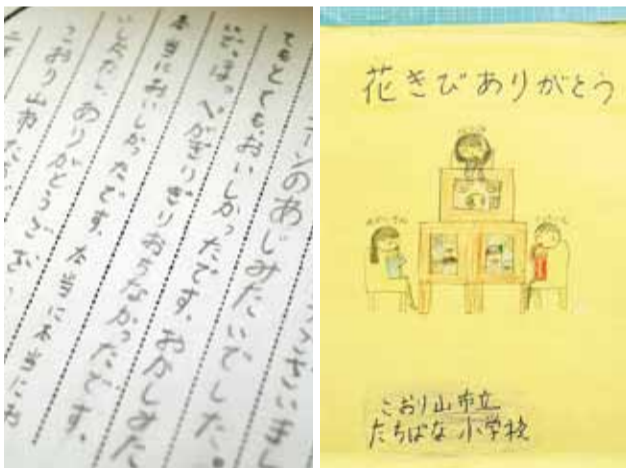


### 福島の子どもたちへ

花きびは、東日本大震災の翌年、福島県の小学校へひな祭りの頃に届けられました。放射能の影響で外に出て遊ぶ、笑わなくなった子どもたちを室内で笑顔にしてあげたいと、保護者たちがバザー用にポップコーンを取り寄せたのです。和田さんたちは、大袋に詰めたカラフルな花きびを寄贈したところ、子どもたちから大喜びのお便りをいただきました。「ほっぺがざりざり落ちなかつたです」など、ほほましいメッセージも書かれています。



どこまでも手作り。1色ずつ釜を洗っていき、きれいに色出し。袋詰めや仕上げも手作業



林業振興・環境部 林業環境政策課 PRESENTS

# 500円が残す、森林未来

vol.5 期間限定 連載企画

## 「森林環境税のこれから」

**◎これまでの取り組み**

高知県では、今後の本県の森林環境税の在り方の検討のために、昨年度に県民世論調査やアンケート、地域座談会などを行い、県民の皆さんのお考えを聞いてきました。これまでの取り組みについては、森林環境税によって今後も継続、あるいは充実していくべきとのお意見が多く、現行の年額500円という税額で、課税期間を今後5年間延長することについても「賛成」が最も多いご意見でした。

**継続のご意見が寄せられたこれまでの取り組み**

- 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援
- 公共的施設等への木材利用
- 森林環境学習への支援
- シカ被害対策への支援

※紹介している事例は一部です

**◎これからの方針**

第三期の森林環境税は、平成29年度末をもって課税期間が満了します。この5年間の森林環境税の取り組みにより、一定の成果を上げております。しかし、まだまだ課題も残っています。そこで、平成30年度からの第四期においては、課題解決に向けて新規事業も行っていきたいと考えています。

**課題**

- 保育間伐が必要な森林はまだ多く存在
- ニホンジカの生息区域は拡大
- 森林保全ボランティア活動への参加が減少傾向など

**◎国の森林環境税(仮称)との関係**

国の森林環境税(仮称)の導入時期は平成36年度ですが、先行して平成31年度から森林環境譲与税(仮称)を市町村などへ配分し、自然的条件が悪く、採算ベースに乗らない森林について、市町村が主体となって管理を行うために必要な経費などに充てることとされています。今後は、国の新たな制度の詳細が具体的な段階で、県の森林環境税の見直しが必要かどうか改めて検討することとしています。

**次号 第四期に向けてのお話です!**

森林環境税についてのご意見・お問い合わせ

高知県 林業振興・環境部 林業環境政策課 高知市丸ノ内1丁目7番52号 TEL 088-821-4586

FAX 088-821-4576 Mail 030101@ken.pref.kochi.lg.jp

県民みんなが森のサポーター 森林環境税についての詳細はQRコードから!